

## 打越 友実

### 7 学会等での活動

- 1) 打越友実, 小林理, 赤木拓人, 新保幸男: ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究—Dual relationship に関する文献に着目して—. 日本社会福祉学会第 71 回秋季大会, 武蔵野大学, 2023 年 10 月 14 日.
- 2) 打越友実, 小林理, 新保幸男: ソーシャルワークの「最善の利益」と「beneficence」についての一考察. 2023 年度一般社団法人日本社会福祉学会関東部会研究大会, オンライン, 2023 年 3 月 17 日.
- 3) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑫—Borrmann (2005)の分析—. 福祉学研究会第 45 回学術集会要旨集, 4 - 12, 2023 年 4 月 10 日.
- 4) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑬—Dolgoft et al. (2012)の EPS とその事例—. 福祉学研究会第 46 回学術集会要旨集, 3 - 9, 2023 年 4 月 24 日.
- 5) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑭—Dolgoft et al. (2012)における自己決定概念の記述への一考察—. 福祉学研究会第 47 回学術集会要旨集, 14 - 19, 2023 年 5 月 8 日.
- 6) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑮—Mayer(2005)の分析—. 福祉学研究会第 48 回学術集会要旨集, 4 - 11, 2023 年 5 月 29 日.
- 7) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究—Dual relationship に関する文献に着目して—. 福祉学研究会第 49 回学術集会要旨集, 7 - 8, 2023 年 6 月 12 日.
- 8) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを扱う際に生じる自己決定概念への認識に関する検討—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 福祉学研究会第 50 回学術集会要旨集, 8 - 22, 2023 年 6 月 26 日.
- 9) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを伴うソーシャルワーク実践における自己決定概念の検討—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 福祉学研究会第 51 回学術集会要旨集, 4 - 19, 2023 年 7 月 10 日.
- 10) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを伴うソーシャルワーク実践における自己決定概念の検討②—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 福祉学研究会第 52 回学術集会要旨集, 4 - 19, 2023 年 7 月 24 日.
- 11) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑯—Dual relationship に関する文献に着目して—. 福祉学研究会第 53 回学術集会要旨集, 4 - 35, 2023 年 8 月 14 日.
- 12) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑰—Dual relationship に関する文献に着目して—. 福祉学研究会第 54 回学術集会要旨集, 4 - 36, 2023 年 8 月 28 日.
- 13) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑱—Dual relationship に関する文献に着目して—. 福祉学研究会第 55 回学術集会要旨集, 4 - 36, 2023 年 9 月 11 日.
- 14) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑲—IJSWVE の研

- 究動向の概観一. 福祉学研究会第 56 回学術集会要旨集, 3 - 8, 2023 年 9 月 24 日.
- 15) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑩—研究計画の全体像と進捗の報告—. 福祉学研究会第 57 回学術集会要旨集, 3-44, 2023 年 10 月 9 日.
  - 16) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑪—研究計画の全体像と進捗の報告—. 福祉学研究会第 58 回学術集会要旨集, 11-44, 2023 年 10 月 23 日.
  - 17) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを伴うソーシャルワーク実践におけるクライアントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重に関する研究—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 福祉学研究会第 59 回学術集会要旨集, 8-17, 2023 年 11 月 13 日.
  - 18) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを伴うソーシャルワーク実践におけるクライアントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重に関する研究②—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 福祉学研究会第 60 回学術集会要旨集, 8-17, 2023 年 11 月 27 日.
  - 19) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを伴うソーシャルワーク実践におけるクライアントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重に関する研究③—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 福祉学研究会第 61 回学術集会要旨集, 20-29, 2023 年 12 月 11 日.
  - 20) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを伴うソーシャルワーク実践におけるクライアントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重に関する研究④—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 福祉学研究会第 62 回学術集会要旨集, 5-12, 2023 年 12 月 25 日.
  - 21) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを伴うソーシャルワーク実践におけるクライアントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重に関する研究⑤—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 福祉学研究会第 63 回学術集会要旨集, 12-25, 2024 年 1 月 8 日.
  - 22) 打越友実 (2023). 保健・医療・福祉分野における「最善の利益」と「自己決定」—生命医学倫理の 4 原則を中心として—. 福祉学研究会第 64 回学術集会要旨集, 7-11, 2024 年 1 月 22 日.
  - 23) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの「最善の利益」と「beneficence」についての一考察. 福祉学研究会第 65 回学術集会要旨集, 15, 2024 年 2 月 12 日.
  - 24) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを伴うソーシャルワーク実践におけるクライアントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重に関する研究—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 社会福祉学科研究会, 2024 年 2 月 21 日.
  - 25) 打越友実 (2023). 支援分野別に見るソーシャルワーク実践に伴う倫理的ジレンマの特徴—クライアントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重を中心として—. 福祉学研究会第 66 回学術集会要旨集, 7-14, 2024 年 2 月 26 日.
  - 26)

## 8 学内教育活動

- 1) 学部担当科目: 社会福祉基礎演習 I (分担), ソーシャルワーク実習指導 I・II (分担), ヒューマンサービス総合演習 (補助), ソーシャルワークの基盤と専門職 (ゲストとして分担, 2023 年 12 月 15 日, 12 月 22 日).
- 2) ソーシャルワーク実習 I・II 実習指導者懇談会・ソーシャルワーク実習 II 報告会の運営, 社会福祉士実習指導者講習会の運営.

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学科オープンキャンパス・ミニオープンキャンパスの企画・当日運営.
- 2) 新年度学科別オリエンテーション担当.
- 3) 学部入試の特別選抜・編入学試験、一般選抜(前期日程・後期日程)における面接会場への誘導業務(2023年11月23日, 2024年2月25日, 3月12日).
- 4) 大学入学共通テスト試験の試験官業務(2024年1月13日).
- 5) 社会福祉学科 SNS 担当. 社会福祉学科動画作成広報チームメンバー.